



洗心園ニュース



居宅介護支援事業所ケアマネジャーの木村です。よろしくお願いします。

2月になりました。まだまだ寒い日が続きますが、いかがお過ごしでしょうか？

居宅介護支援事業所のケアマネジャーは、毎月1回ご利用者のお宅を訪問する事が、大切な仕事の一つです。

以前この洗心園ニュースを担当した時にも触れましたが、真夏のご自宅訪問では、熱中症等暑さに対する注意をして訪問します。ご存じの通り、熱中症は命に直結するリスクがあります。そのため、猛暑の中でクーラーを使ってない自宅訪問に、ひやひやする事もあります。

冬の訪問では、暖房は炬燵のみというお宅が結構あります。「寒くないですか？」と尋ねると、「前はストーブを使っていたけど、危ないから止めた。家族も心配するから。」と答えが返ってきます。「エアコンをつけたら…」と言うと、「機械の風は好きじゃない。苦手。」と言われます。利用者さんの年代にとって、暖房と言ったら、ストーブなのでしょう。

私は今年52歳になりますが、確かに子どもの頃は、比較的温暖だった廿日市沿岸部の自宅にも、祖父母の家にも、ストーブ（石油です）がありました。ストーブの上で、お湯を沸かしたり、お餅を焼いたり、祖父母宅に至っては、熱燗や干物を焼いたり暖房器兼調理器具として重宝されていたように思います。しかし、近年自宅にストーブというのもあまり見かけなくなりました。火災や火傷等の事故を心配する声もあり、確かにその通りだと思います。

寒い冬の日、一旦炬燵に入ると、動かたくなくなる事は、世代を超えて皆同じです。また、朝、布団からも出たくなくなります。

しかし、ご高齢の方がこのような生活状況になると、身体の動きが悪くなり、転倒等のリスクが増えて来ます。そのため、寒い冬でも炬燵や布団から出て、身体を動かしてもらえるよう、デイサービスや通所リハビリ、訪問リハビリなどのサービス利用を勧めて行きたいと思います。



生花クラブ



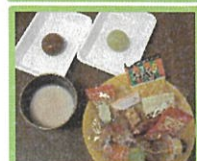
お正月の風景



【2の特養の行事予定】

- 4日 体重測定
- 5日 豆まき・ぜんざい会
- 19日 誕生会・生花クラブ・買物
- 25日 書道クラブ
- 26日 ミニ喫茶
- 28日 茶道クラブ

※行事は中止・変更になる場合があります。



楽しい喫茶タイム



居宅の木村です。いつでも声をかけてください。